

投資家のお客さまへの 取り組み

資産運用ビジネスは、長期的な成長が見込まれる一方、競争激化や規制強化による不透明性も強まっています。定年延長に伴う年金制度の変更など、新しい時代に即した対応を迫られています。投資家のお客さま向けビジネスでは、資産運用・資産管理、制度・運用一体での年金コンサルティングなど各領域で高度な専門性やノウハウを、グループ一体となって展開していきます。

社会課題として、積極的に取り組むテーマ

多様な運用機会、インベストメント・チェーンの発展

伝統的資産に加え当グループの特徴を活かした 運用商品力の強化

投資先企業の成長や運用資産の増加がもたらすリターンが投資家に還元され、経済全体の成長につながる一連のインベストメント・チェーンにおいて、特徴ある複数の運用機関を持つ当グループは、その役割を積極的に果たし、好循環に貢献します。

グループ内の資産運用会社は、フルラインをカバーした資産運用サービスを国内外の幅広いお客さまに提供します。三井住友信託銀行は、非上場株式(プライベートエクイティ)や航空機、不動産などの実物資産を投資対象とした「プライベートアセット」に注力し、提案から商品開発・アフターフォローまでを一気通貫で提供することにより、お客さまの最適な資産運用の実現に貢献します。

投資のさまざまなプロセスにおける 効率的かつ高付加価値サービスの提供

機関投資家のお客さまへ、グループ一体となって、受託者精神に基づき、お客さま本位の高付加価値サービスを提供しています。自らが運用会社であるが故に有する高い専門性、ノウハウを活かし、バックオフィス業務、ミドルオフィス業務のアウトソースを受けた証券管理業務サービスの提供を通じ、お客さまの業務効率化と競争分野への集中をサポートしています。

伝統的資産以外のオルタナティブ商品の広がりに対応し、主に有価証券の管理で培った専門性やノウハウを不動産や金銭債権などの管理ビジネスと融合し、資産管理サービスのさらなる高度化を推進します。

ビジネス環境認識

環境認識・課題

- グローバルな資産運用市場の拡大
- パッシブ化、競争激化、規制強化による報酬率低下圧力
- プライベートアセットへの投資ニーズの高まり

機会・強み

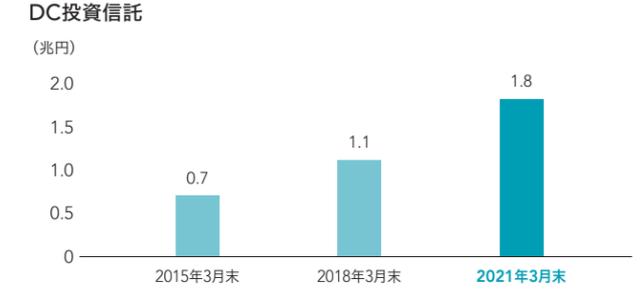
- アジア最大級の運用資産残高
- 国内投資信託市場での幅広い販売チャネル
- インベストメント・チェーン全領域における一気通貫でのサービス提供

重点施策 1

資産形成の中核となるロングセラー商品の提供

三井住友トラスト・アセットマネジメントは、アジア最大規模の資産運用残高を有し、これまで培ってきた国内の機関投資家へのプレゼンスに加え、成長分野である国内リテール市場で、より一層の成長を目指します。

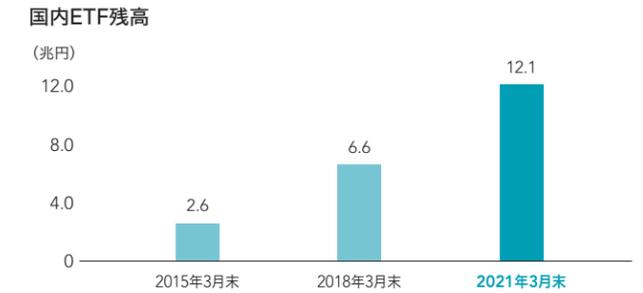
お客さまに最適な資産運用ソリューションを提供するとともに、強固な顧客基盤を活かした確定拠出年金(DC)市場での商品ラインアップの拡充とサポート体制の強化を図りながら、投資先へのESGエンゲージメントなどを通じて社会課題の解決に貢献していきます。



重点施策 2

エッジの効いた先進的な商品の提供

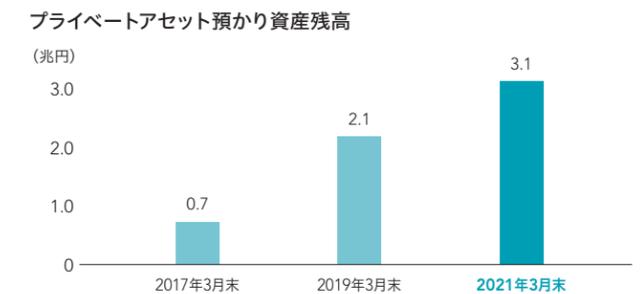
日興アセットマネジメントは、世界11カ国の拠点(JV含む)のネットワークと、それらを積極的に活用したユニークな商品開発力や販売会社へのサポートなどの強みを活かし、お客さまに革新的な商品やサービスを提供していきます。また、持続的な成長に向けて、海外におけるディストリビューションの強化や、非流動性資産を含む投資領域の拡張を進めます。また、日本有数の規模を誇るETFビジネスでは、アジア市場を中心としたグローバルでのETFビジネス強化の推進により業界をリードしていきます。



重点施策 3

多様なプライベートアセットへの投資機会提供

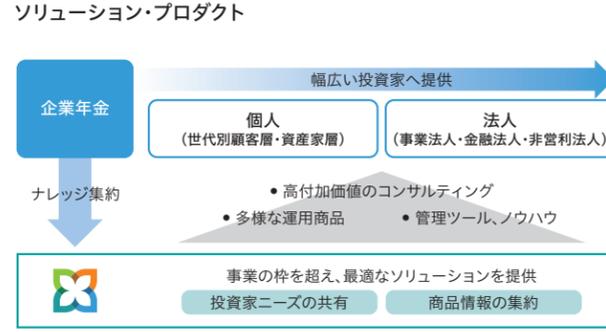
世界的な低金利環境が定着するなか、非上場株式や不動産、再生可能エネルギー発電プロジェクトなど実物資産を投資対象としたプライベートアセットへの関心が高まっています。信託銀行としてのコンサルティング力や豊富な投融資の知見、信託機能を活用した商品開発力を活かし、情報提供などの投資サポートや商品ラインアップ拡充を通じて多様なプライベートアセットへの投資機会を提供していきます。



重点施策
4

機関投資家としての運用ノウハウの融合・拡張

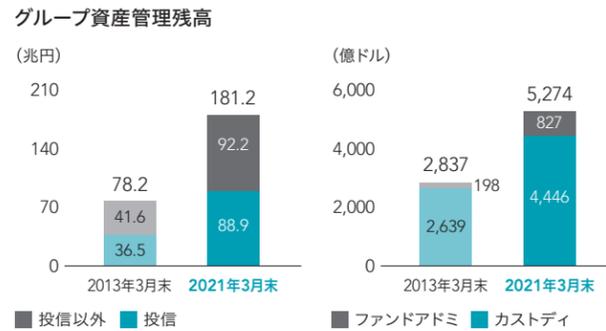
お客さまのさまざまなニーズにお応えするべく、当グループが有する資産運用のナレッジを融合し、各種コンサルティングの高度化やグループ内外の高品質なプロダクト強化を推進していきます。また、持続可能な社会の実現に向けて、ESG投資に関するプロダクトの拡張・社会的リターンへの可視化などを通じ、経済的価値と社会的価値を創出していきます。



重点施策
5

インベストメント・チェーンを支える資産管理業務

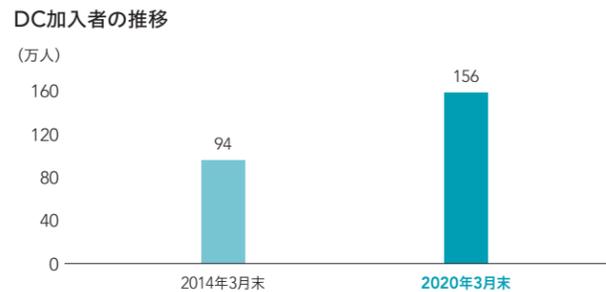
運用会社や投資家のお客さまのさまざまなニーズにお応えするべく、国内外グループ一体でお客さま向けサービスの高度化を推進していきます。また、主に有価証券の管理で培った専門性やノウハウを不動産や金銭債権などの管理ビジネスとも融合し、資産管理サービスのさらなる品質強化と付加価値向上を追求していきます。



重点施策
6

お客さまのWell-being向上サポート

持続的な企業価値向上を支える原動力である従業員に対して、企業年金制度や福利厚生全般サービス提供を通じ、お客さまのWell-being向上へのサポートを積極的に展開しています。特にSDGsやESGの世界的潮流、定年延長やCGC改定などを背景に、人的資本経営に対する関心が高まるとともに、業界トップの事業基盤を持つ確定給付年金(DB)・DCでの制度コンサルティングに加え、企業内での資産形成支援をワンストップで行うことにより、当社ならではのライフプランマネジメントサービスを提供していきます。

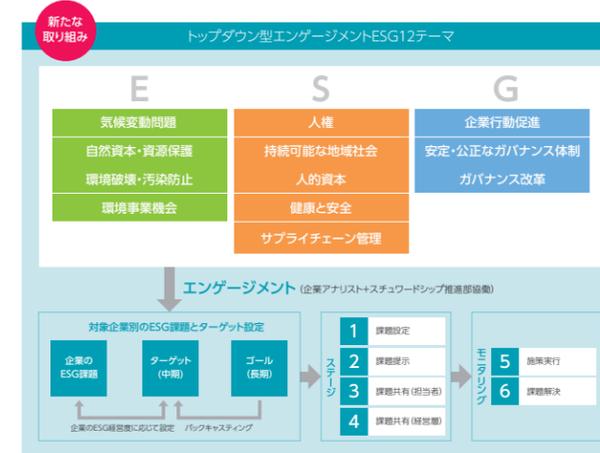


社会課題解決型ビジネスの取り組み

国内外の幅広い投資先企業を対象としたエンゲージメント活動を通じ、社会課題解決や企業価値向上を図っていきます。

■ 三井住友トラスト・アセットマネジメントのトップダウンエンゲージメント活動

三井住友トラスト・アセットマネジメントは、2019年9月にESG投資ポリシーを制定し、ESGマテリアリティを特定しました。それを基に12のESGテーマを設定し、高度化したトップダウン型エンゲージメント活動を推進しています。



※詳細は「STEWARDSHIP REPORT 2020/2021」をご参照。
https://www.smth.jp/csr/report/2020/ss_all.pdf

■ 日興アセットマネジメントのESG投資のアプローチ

日興アセットマネジメントでは、資産運用会社としてフィデューシャリーおよびESGの原則を最も重要な指針に定めています。グループ全体のコミットメントを明確にするため、2016年に「フィデューシャリー・ESG原則に係る行動指針」を策定し、ESGグローバル・ステアリング・コミッティーを設置しました。

ESGグローバル・ステアリング・コミッティーはESGの取り組みに係るコミットメントの遂行を監督しており、グローバル・エグゼクティブ・コミッティー(以下、GEC)のメンバーである最高投資責任者が委員長を務めています。ESGグローバル・ステアリング・コミッティーはGECの管轄下にあり、取締役会に対して少なくとも四半期に1回の報告を行います。

ESGグローバル・ステアリング・コミッティーは国内外の運用チームのリーダーによって構成されており、各リーダーはESG課題をそれぞれの投資プロセスに組み入れることを求められています。同コミッティーはまた、こうしたESG課題の組み入れについての実効性を評価し、取り組みを強化することが求められています。さらに、国連が推奨する六つのPRI原則全ての実行にも取り組んでいます。

日本においてはスチュワードシップと議決権行使の双方のガバナンス体制がESGの枠組みを補完しています。これらは、「スチュワードシップ&議決権行使委員会(以下、行使委員会)」と「スチュワードシップ&議決権政策監督委員会」で構成されます。行使委員会は、スチュワードシップ方針の策定や議決権等行使指図ガイドラインの見直しを含む、スチュワードシップ活動を実践するために必要な指針の作成に取り組んでいます。

※詳細は「サステナビリティレポート2020」をご参照。
https://www.smth.jp/csr/report/2020/nikko_am_2020_sustainability_report_jp.pdf

